

## 異文化と心通わせ

つくば通信

(42) 村田 佳子



この季節、夏服に衣替え  
国ならではの発想でしょ  
う。  
えし  
颯爽と通学する高校  
生を見て、鶴岡での懐か  
しい高校時代を思い出し  
ました。梅雨入り前の晴  
れた日に深緑の中を自転  
車で駆けるのは気持ちい  
いものでした。

先日、職場近くで見覚え  
えのあるアフリカ人男性  
に声をかけられました。  
「村田さん、クリーニン  
グ屋さんの場所を教え  
て」。研修生の一人でし

10年ぶりの同窓会に行  
く同僚が先日「帰りに肌  
寒いかもしれないからト  
レンチコートを重ねてい  
きたいけど、変かな?」  
と尋ねてきました。着る  
ものを選ぶとき、体が感  
じる暑さや寒さに合わせ  
た機能を考えながらも季  
節に合っているかどうか  
が気になるのは趣きがあ  
つてとても日本人らしい  
です。「季節はすれなん  
かウンターで人の気配は  
いらっしゃるの?」と尋ね  
た。自転車のかごには冬  
物の衣類が積んであります。  
少し離れたところに  
「クリーニング」という  
日焼けした薄茶色のぼ  
りが立っており、あまり  
に控えめな佇まいです。初  
めて行く人は見過ごして  
通り過ぎてしまいそうな  
ので場所を案内すること  
になりました。中は大人2  
人がやっと並べるほどの  
カウンターで人の気配は  
ありません。初めて日本